

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
大阪動物専門学校天王寺校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和 6 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和 7 年度学校関係者評価委員会

<委 員> (五十音順)

大西 里奈 氏 株式会社 majun-family Natural Pet Space majun
大引 健 氏 株式会社ケイディーシー 営業 課長
高橋大二郎 氏 大東電機工業株式会社 営業部 部長
田原ほの香 氏 京橋コパン動物病院 動物看護師
道満 直樹 氏 有限会社ペッツピー・ディー 代表取締役
丸野 莉菜 氏 株式会社 AHB PetPlus 神戸三宮店 店長
畑中 学 氏 株式会社ヘイドッグズ 代表取締役

<事務局>

久保 文武 大阪動物専門学校天王寺校 校長
芋岡 英恵 大阪動物専門学校天王寺校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準 1 教育理念・目標	イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) 本学が教育を行う理念・目的・育成人材像を明確に定め、学則第 1 条に規定している。 ロ. 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか 本学が教育を行う理念・目的・育成人材像を明確に定め、学則第 1 条に規定している。 ハ. 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか 本学独自の教育システムである「ゼミ学習」では、幅広い知識や技能を身に付け、動物業界のみならず異業種企業や官公庁にも就職している。 ニ. 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか 現状では 3～5 年にかけては拡大戦略を立てず、既存の学校の内容充実に努めるべきとの結論に達している。

	この基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見や質問があった。 • 目的がしっかり定まっており、就職実績から必要な人材が育っていると感じる。(畑中委員) • 質問：学生が学校の存在意義や学ぶ目的をどこまで理解しているか。(畑中委員) • 回答：入学当初から「資格、就職、キャンパスライフ」の3点をキーワードに学生に伝え、目標設定と動機付けを行っていること、イベント等を通じた人間関係構築や社会性育成にも繋がっていることを伝えている。(本学委員) • 卒業生と接する中で、学校生活が楽しかったという感想を聞くことが多く、先生方の人柄も良く、素晴らしい取り組みがされていると感じる。(畑中委員)
基準2 学校運営	イ. 理念に沿った運営方針を定めているか 「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としている。 ロ. 理念等を達成するための事業計画を定めているか 少子化の中で「学生から信頼され支持される学校づくり」という基本目標のもと、今は拡大戦略を取らず、既存の学校の内容充実に努めることが大切と考えている。 ハ. 設置法人は組織運営を適切に行っているか 組織図があり、それに従って運営されている。 ニ. 学校運営のための組織を整備しているか 組織における各部署には、学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。 ホ. 人事・給与に関する制度を整備しているか 就職指導、資格試験指導、対外活動などで顕著な成果を収めた者はその都度表彰している。昇進試験時に人事考課をしている。 賃金の支払い基準を明確に定め、適正に運用している。 ヘ. 意思決定システムを整備しているか 理事会、評議員会、部次長会議、責任者会議、課会議、動物責任者グループ会議などの意思決定プロセスが制度化されている。 ト. 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか 情報システムについては、学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。学務システムは、仮想プライベートネットワーク（VPN）を全拠点で結び、セキュリティを強化している。なお、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学生に対しては Microsoft アカウントを付与し、オンライン授業等行える環境を整えている。在学生への求人情報の提供、学校が取りまとめる求人への申込をオンライン化し、「就職支援ポータルサイト」として運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。さらに、インボイス制度や改正電子帳簿保存法に対応するため、電子請求書管理システムの BillOne を導入した。

	この基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 • しっかりした理念と3つの柱（合格、就職、明るいキャンパスライフ）を持って運営されており、学生を見ても感じられること、卒業生と会う機会でも皆しっかりしており、実技だけでなく社会人としてのマナー等も指導されていると感じる。（高橋委員） • グループ校と比較しても関西2校は、先生方のコミュニケーション能力が非常に高いと感じる。卒業後も「楽しかった」という印象が強い学生が多い。（道満委員）
基準3 教育活動	イ. 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか カリキュラムポリシーにおいて教育課程の編成方針、実施方針を明確にしている。 ロ. 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか 修業年限で、業界が求めるレベルに到達することを可能にしている。 ハ. 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 本学では、開学以来、ゼミ学習方式を採用しており、各業界、各職種に対応する専門的な知識を確実にするだけでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性の育成にも力を入れている。また、教育課程編成委員会を設置し必要となる最新の知識をカリキュラムに反映させている。また、官公庁説明会や学内就職セミナーで企業から回収したアンケート回答を基に「企業が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、動物関連業界を中心に多岐にわたる業界や職種のニーズに対応できる教育を実践している。 ニ. 教育課程について、外部の意見を反映しているか インターンシップ先や学内就職セミナーで得た回答と年2回開催している教育課程編成委員会の意見を参考に、カリキュラム作成委員会を行い、反映させている。 ホ. キャリア教育を実施しているか ビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、新入生就職セミナーや企業等と連携したインターンシップ実習の充実を目的とした授業科目を設置している。また、企業の人事担当者を招く学内就職セミナーでは、求められる人物像などの説明を直接学生にしている。平成26年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、本学は職業実践専門課程の認定を受け、企業等と連携して実践的な演習・実習を行っている。 ヘ. 授業評価を実施しているか 学生による授業評価アンケートを実施して、授業システム見直しのための資料として活用している。 ト. 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか

	成績評価および単位認定は、学則および専門課程便覧に基づき厳正に行っている。また、成績評価については本学ホームページ上にも公開している。令和元年度より GPA 算定をするために、システムを改修し導入した。GPA の算定については、ホームページ上にも公開している。 チ. 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか 犬の訓練競技会への出陳、トリミングコンテストへの参加を奨励している。 リ. 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか 各学科で目標とする資格・試験を具体的かつ明確に定めている。 ヌ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか 教員の専門性や教授力等を常にスキルアップするため、年間を通じての自己啓発研修を実施し、個々のスキルアップを図っている。 ル. 資格・免許取得の指導体制はあるか 目標とする資格の試験日までには合格レベルに達するようにカリキュラムを編成している。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。 ヲ. 資格・要件を備えた教員を確保しているか 採用の際、専門性、人間性、教授力、必要資格等を確認し、それらの要件を備えた教員を採用している。 ヲ. 教員の資質向上への取り組みを行っているか 年間を通じ自己啓発研修を実施し、個々のスキルアップを図っている。また、外部の講習会に参加し、授業に反映させている。 カ. 教員の組織体制を整備しているか 校務分掌一覧を作成し、管理運営面でも協業する体制を構築している。また、授業運営において教員と非常勤講師でカリキュラムの進行状況の確認を行っている。各イベントに際しても役割分担表を作成し、協業している。 この基準 3 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 • 近年の若年層は承認欲求が強く、細かく評価することや学生の目線に合わせた取り組みが必要だと感じている。自己理解セミナーやグループワークについては興味深い取り組みだと感じた。(大引委員) • 今の学生は褒められないと頑張れない傾向がある。短期目標の設定が重要であり、ドッグトレーニングなどすぐに成果が出にくい分野での指導に苦勞している。(本学委員)
基準 4 学修成果	イ. 就職率の向上が図られているか 就職部担当者と各クラス担任が連携して学生指導にあたっており、動物系企業を中心に、民間企業にも正社員として多くの学生が就職している。また、本学独自の学内就職セミナーには各業種の企業等に参加していただいている。 ロ. 資格・免許取得率の向上が図られているか 学園内各校と資格取得率向上のカリキュラム会議を開き試験内容に変更がある

	場合にはその内容にすぐに適応できるように体制を整えている。また、本学独自のゼミ学習を行うことにより学力をつけ合格実績を上げている。 ハ．卒業生の社会的評価を把握しているか 卒業生は本学で養った専門知識や技術、豊かな人間性を生かし、広く社会で活躍している。また、学内就職セミナーにおける企業アンケート中の「卒業生の評価」項目で把握している。 この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見や質問があった。 • ドッグアドバイザー試験の合格率が低い傾向にある。学生の貪欲さや犬に対する独占欲（他の学生が犬を触るのを許さないなど）が薄れており、自己成長への期待感も低い。達成感を与えること、指導において工夫が必要である。インターン実習生を受け入れる中で学生間の差を感じている。（畑中委員） • 最近、学生が答えに飛びつきがちで自分で考えない傾向が強くなっている。うまくいかない時に他の手段を考えない学生が多く、担当講師も苦労している現状がある。（本学委員）
基準5 学生支援	イ．就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか 就職相談室を設け、就職部担当者および各クラス担任が学生の就職を支援している。就職支援ポータルサイトを運用し、求人票のリアルタイムの閲覧、エントリーの一元化、就職部と学生の連絡手段の新設により学生が就職活動をスムーズに行えるようにした。 ロ．退学率の低減が図られているか 退学のおそれがある学生、学業に悩みがある学生等を早期に見出し、担任から働きかけその原因を取り除き解決に導く等の指導をしている。また、Microsoft Formsにて学校生活アンケートを実施し、学生の変化を確認している。 ハ．学生相談に関する体制を整備しているか 学生は担任に相談することが多いが、担任に言えない悩みなどは学生相談室で担当者に相談をしている。 ニ．留学生に対する相談体制を整備しているか 留学生は居ないが、留学生特有の相談があるので、担当者が相談にあたる。 ホ．学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか 日本学生支援機構の奨学生制度などの他に本学独自の特別奨学生試験、各種特待生制度や学費延納制度などがある。令和2年度よりスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として大阪府より確認されている。 ヘ．学生の健康管理を行う体制を整備しているか 年に1回全学生を対象に定期健康診断を実施している。 ト．学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか 学生寮運営に実績のある企業に依頼し学校提携寮として遠隔地出身者に紹介している。また、学生マンションの企画、管理、仲介を全国的に行っている企業と業務提携を行っている。

	チ. 課外活動に対する支援体制を整備しているか 野球部、サッカー部、バスケットボール部、ダンス部、SNS 部、ドッグスポーツなどのクラブ活動や体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動にも力を入れている。 リ. 保護者との連携体制を構築しているか 定期的な書類送付により、保護者と適切な連携を行っている。送付内容は、出席状況、成績状況、学生相談室、就職相談室のお知らせ等であり、必要に応じて保護者と直接連絡をとり、保護者または、学生と保護者を交えて面談を行っている。また指導の記録は、学務システムに記録している。 ヌ. 卒業生への支援体制を整備しているか 学校に訪ねてきた卒業生には、助言、指導を行うが、フォローアップ体制はできていない。 ル. 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか 具体的な取組は行っていない。 ヲ. 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか 具体的な取組は行っていない。 この基準 5 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見や質問があった。 • 弊社では、社会人向けドッグトレーナー養成コースを開講している。コロナ禍でのニーズや現場経験の重要性、働きながら学ぶことの困難さ、人材不足への対策として長期的な視点が必要だと感じている。(畑中委員)
基準 6 教育環境	イ. 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか 設置基準に基づき教室、実習室、教員室、事務室などを設置している。維持管理については定期的な点検整備を行っている。 ロ. 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか ペット関連イベントの見学、アジリティ大会、ドッグショー見学、動物関連施設等の学外実習、インターンシップ、高齢者施設でのドッグセラピー活動、ペット旅行研修を実施するなど十分な教育体制を整備している。 ハ. 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用している 防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に避難訓練等を行っている。危機管理マニュアルが存在していないため作成し整備する。また作成後、教職員に周知徹底を図っていく。 防火管理者を置き、消防計画を立てている。 ニ. 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか 学生に保険への加入を勧めている。施設賠償責任保険に加入している。 令和 6 年度入学者より全員が、学生・生徒災害傷害保険に加入している。 この基準 6 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。

	弊社の店舗でも、人命第一を最優先としており、学校の防災への取り組みは妥当である。過去に火災ベルの誤報で動物を可能な限り避難させた経験もあるが、現在はトリミング規約に災害時は免責となる旨を含めている。また動物愛護法等の法令への対応は、法律以上の基準で対応している。(大引委員)
基準 7 学生の受け入れ募集	イ. 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか 就職実績は、企業名・イニシャル・出身校名を掲載している。また、資格取得実績についても合格者が発表される都度すぐに公表している。 ロ. 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか 入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は、正確に把握している。合格状況や就職状況に基づき作成し、正確でわかりやすい表現になっている。 ハ. 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 入学選考は大阪府専修学校各種学校連合会の規定に沿って作成した募集要項により適正に選考を行っている。提出された入学願書の志望理由を中心に調査書・成績証明書等を参考にして本学教育内容の理解度や入学後の熱意を把握し可否の判定をしている。 ニ. 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか 入学処理を行いデータとしてすべて把握している。学校基本調査の際に学科ごとの合格率・辞退率を把握している。 ホ. 経費内容に対応し、学納金を算定しているか 毎年理事会・評議員会で承認されている。変更が必要な場合は理事会・評議員会の承認を経て学則を変更する。 ヘ. 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか 募集要項に「納付金は入学金を除き全額返還する」ことが記載されており、それに基づき適正に処理されている。 この基準 7 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 全国各地の専門学校と取引をしているが、自身の関心として教員が自校の広報、募集活動に関わっているかに注目している。貴校のように経験豊富な教員が広報活動に関わっている学校は限られており、それが強みになっていると感じる。(道満委員)
基準 8 財務	イ. 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか 過去 5 年間、経費削減に全力を傾注してきた。しかし、入学者数の減少に伴い附属収入も減少している。 ロ. 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか 過去 3 年間の収支状況を把握している。 貸借対照表比率、事業活動収支比率の一部分について財務分析を実施している。 ハ. 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか 過年度の実績をもとに経理部が中心となり、予算編成を実施している。

	ニ. 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか 人件費および管理経費のうち予算額の大きな費用科目については経理部が月次で執行管理をしている。 ホ. 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか 公認会計士による監査は年間を通じて適時実施されている。監事による監査は毎年５月に監事２名と理事、経理部長を中心に実施されている。 ヘ. 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか 私立学校法第４７条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し公開している。 さらにホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。 また利害関係者からの請求があった場合にも情報公開をしている。 この基準８についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、適切に運用および管理されていると評価された。 • 全体の収支報告書を拝見して財務状況が安定しており、素晴らしいと感じる。少子化の中、学生数が増加しているのは、生徒や高校との関係構築、そして就職指導への努力が数字に繋がっているからだろうと評価している。(高橋委員)
基準 9 法令等の遵守	イ. 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか 教育基本法、学校教育法、専修学校設置基準に則り適正な運営を行っている。寄附行為、学則等が適切に届けられている。また法令遵守規程を作成している。動物取扱業として大阪市に登録している。なお、動物取扱責任者を選任し、動物取扱責任者研修を通じて必要な知識や技術を習得している。 ロ. 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか 個人情報保護規程を設定しており、プライバシーポリシーを設定し公開している。また、学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。 ハ. 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか 本学では、「自己点検・自己評価委員会」を設置し、私立専門学校等評価研究機構の基準により点検、評価を行っている。 ニ. 自己評価結果を公表しているか 自己点検・自己評価の結果を「自己評価表」としてホームページに公開している。 ホ. 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか 学校関係者評価委員会を設置し、毎年５月に委員会を開き評価をいただいている。 ヘ. 学校関係者評価結果を公表しているか 学校関係者評価委員会報告書をホームページに掲載している。 ト. 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか 文部科学省のガイドラインに従い、ホームページにて学校情報の公開を行っている。

	この基準 9 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 動物愛護管理法への対応、特に設備投資、生体管理については難しい面もあると感じている。個人情報保護についても電子保存や持ち出し制限など注意して進めていること、ペット業界は SNS 等で批判されやすいため「法令以上の厳しさ」で対応していく必要があると感じており、余裕を持って対策を講じることが重要である。（大引委員）
基準 10 社会貢献・地域貢献	イ. 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 高齡者施設でのドッグセラピー活動や家庭飼育犬をモデル犬として無料でグルーミングを実施している。また、学園祭に家庭飼育犬オーナー様を招待し、本学の講師による「ワンちゃん講習会」をはじめ様々なペット向けの催し物を開催、そして浜寺公園振興協議会から依頼を受け、浜寺ローズカーニバルで犬のふれあい広場を設置し、地域との連携を行っている。 ロ. 国際交流に取り組んでいるか 現状では特に連携していない。 ハ. 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか 学生たちは、Pet 博大阪のスタッフ、インターペット大阪、競技会の補助など、各種イベントのボランティアなどを行っている。 この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見や質問があった。 弊社でも地元野菜を使った犬ごはん作り、百貨店イベントなどで地域連携を行った経験がある。イベントを通じた地域との連携は大切であり、貴校の家庭犬をモデル犬にした実習は地域への貢献とする側面も確かにあると感じた。（大西委員）